

北海道医療大学歯学部同窓会
北海道支部連合会・札幌支部

設立30周年記念事業開催のご案内

今年には北海道支部連合会が、来年は札幌支部が設立30周年を迎えます。これを機に、私たちを支えて下さった方々をお招きして、下記の通り記念事業を開催致しますので、是非スケジュールに入れておいて下さい！

また、記念講演会は、全国的にも著名な月星光博先生をお招きすることとなりました。貴重な機会となりますので是非足をお運び下さい。

日時 平成30年9月23日（日）

場所 ニューオータニイン札幌（札幌市中央区北2条西1丁目）

午後1時～ 記念講演会（講師 愛知県開業 月星光博先生）

午後4時～ 記念式典

午後4時半～ 基調講演会（講師 斎藤隆史 歯学部長）

午後5時～ 記念祝賀会

※時間に関しましては変更の可能性もございます

正式なご案内状は後日改めてお送りしますが、会場設営のため参加人数をある程度把握したいと思っております。現時点での状況で構いませんので、ご出席を希望される方は下記に記載してお知らせ下さい（最終決定ではありません）。

申込先 FAX : 011-788-4809 E-mail : do-rengo@theia.ocn.ne.jp

30周年記念事業 参加申込用紙 **【締切 5月25日（金）】**

※ご参加のところに○をつけてください。

記念講演会 ・ 記念式典 ・ 基調講演会 ・ 記念祝賀会

お名前 _____（ 期）

勤務先名 _____

FAX またはメールアドレス _____

北海道支部連合会・札幌支部 設立 30 周年記念

— 記念講演会のご案内 —

講師 月星光博先生（愛知県開業）

演題 これからの「エンド」の話をしよう

—Justice in Endodontics—

略歴

1977年	大阪大学歯学部卒業	2009-2010年	国際外傷歯学会会長
1981年	京都大学医学部大学院卒業	2012年	米国ウエスタン大学歯学部臨床助教授
1982年	月星歯科クリニック開設	2013年	大阪大学歯学部非常勤講師
1988年	米国歯周病学会会員	2015年	東北大学歯学部臨床教授
1998年	米国ロマリンダ大学歯学部非常勤講師		

抄録 我が国のエンドの成功率は現在どれくらいでしょうか？筆者の偏見かもしれませんが、日常臨床で遭遇する患者のエクス線写真を見る限り、今も昔もエンドの成功率は高いとは思えません。その原因を、教育、医療システム、歯科医師の技量(知識と技術)などさまざまなものに押しつけることはたやすいのですが、基本的には、「根管の感染を除去できないこと」、いやむしろ、「根管を感染させてしまうこと」が失敗の根源です。

根尖病変に代表されるエンドの問題は、それが「術前」であろうと「術後」であろうと原因は感染であることは疑いの余地はありません。したがって、根管治療のゴールは単純明快です。感染根管では細菌を除去することであり、抜髄根管では細菌感染をさせないことです。このためには、ラバーダム装着、厳密な器具の滅菌、そして緊密かつ強固な仮封操作などの基本的な「エンドの常識」が要求されます。この常識が守られて初めて「エンドの革新：Endodontic innovations」が可能になります。

一方、「理想的な根管充填材は歯髄である」とはよく聞く言葉です。いいかえればエンドのゴールは歯髄を守ること、根管治療をしないことです。加齢的なエンドの大きな問題に無髄歯の歯根破折があげられますが、この重要性を物語っています。本来生体は、想像以上の感染防御力(免疫力)と失われた組織の再生力を有しています。そこで、我々歯科医師が目指さなければならないことは、生体(免疫と再生)への手助けです。とくに若年者で顕著ですが、感染除去に伴う歯髄の再生力に驚かされます。歯科領域では、乳歯の歯髄、歯根未完成における歯乳頭(ヘルトヴィッヒ上皮鞘)内側の細胞(歯髄の前駆細胞)、歯髄、歯根膜、骨髄といった多くの stem cells(幹細胞)の供給源と我々は日常臨床で隣り合わせにいます。手を伸ばせばそれを手に入れる、利用できる立場にいることを再認識したいと思います。